



機関紙はあもにい第65号

発行日 年間2回(7月・1月)

編集集 社会福祉法人白老宏友会 法人本部

白老郡白老町川沿1丁目553番地1

TEL (0144) 85-3100

HP : <http://www.shiraoi-kouyuukai.jp/>

「先進地視察研修（石川県）」

白老町介護保険・障害施設事業者連絡協議会主催



輪島
やぶかぶれ



誰でも気軽に集える場、自家製粉、自家製面にこだわった本格的な蕎麦処「輪島やぶかぶれ」です。

三ノ湯・七ノ湯



地下1165mから湧出する源泉掛け流し温泉「三ノ湯」と「七ノ湯」、日替わりで2つの趣の異なる温泉を楽しめます。

B's
WAJIMA



高齢者デイサービスなど、地域に根づく福祉・医療サービスを提供する場です。

GOTCHA! WELLNESS
ゴッチャ! ウェルネス輪島



日本初の地域密着型ウェルネス。白山、小松に続く3号店です。健康なまちづくりに取り組んでいきます。

新年あけましておめでとうございます。先般、11月に石川県の輪島の福祉施設「輪島カブーレ」を視察してきました。「白老町介護保険、障害施設事業者連絡協議会」が主催となった初めての先進地視察研修で、「町づくりと福祉事業」や「災害と福祉」などについて見させていただきました。輪島カブーレの説明で、当時の輪島市の課題は少子高齢化による人口減少が著しく進む中、消滅自治体といわれている現状を変えるために、何ができるか、何をするべきかを福祉の実践というコンセプトで、「障害福祉事業、高齢者福祉、介護予防、児童援護、地域交流、銭湯、居酒屋・・等々」が一体となって、垣根のない「ごちやまぜ」の価値観を醸し出していました。輪島カブーレの2023年の関係人口は23万人と聞いて驚きましたが、現場を拝見させていただき、その成果に納得がいきます。居心地の良い空間、適度な干渉の心地よさ、フィットネスと温泉、おいしい地ビールとブータンのそば、研鑽された外観と内装など、同じ福祉にかかわる者として、憧れを抱くレベルです。白老町も、輪島と同じように、少子高齢化、人口減少の方向は変わらず、消滅自治体といわれる状況にありますが、時に身をゆだねるのではなく、白老宏友会は大いに抗い、豊かな白老を目指してどんな活動や貢献ができるのか、今一度考えていきたいと思いました。輪島で見た「利用者の笑顔・職員の笑顔・地域住民の笑顔」の為に。

理事長：北 平 保

生活介護事業所

みらいえ

～ミナピエノ～

3年目を迎えたみらいえのジェラート店「ミナピエノ」。今年も多くのお客様にお越しいただきました。リピートされる方々も数を増し、「町のアイス屋さん」として地域に根付きつつあるように思います。開業以来これまでに延べ5万人のお客様がご来店されました。11月からは、店舗メニューにプリンと人気のフィナンシェをトッピングしたソフトクリームが加わりました。一押しは、ソフトクリームプリン。とろーりプリンとソフトクリームのハーモニーが絶妙な一品です！寒い季節となりましたが、店舗勤務の利用者さまと自慢の薪ストーブが暖かくお迎えいたします。冬期間も是非ご利用ください！

コキア鑑賞（由仁町）



ウポポイ



室蘭散策



SNS 開設！



みらいえ Instagram



ミナピエノ Instagram

Mina pieno のインスタグラムを開設しました！
新商品の紹介や開業日の情報も投稿中！みらいえ
のインスタグラムと併せてフォローお待ちしてお
ります！！



新メニューのソフトクリームプリンと
フィナンシェソフトクリーム。

～日帰り外出～

8月から10月にかけて日帰り外出行事を行いました。数班に分かれて、室蘭散策（地球岬、水族館）、ウポポイ散策、コキア鑑賞（由仁町）に出かけ、利用者の皆様はそれぞれの体験を楽しまれた様子でした。室蘭組は、地球岬の絶景を満喫。ウポポイ組はアイヌの民族衣装体験。由仁組は圧巻のコキアの景色の前で記念撮影と、素敵な思い出ができたのではないでしょうか。来年もまたいろいろな場所でたくさんの思い出を作っていただきたいと思います。

～行事報告～

9月には果物狩り行事に出かけました。天候にも恵まれ、利用者の皆さまは、ぶどうにりんごと舌鼓を打たれていました。10月にはハロウィンのたこ焼き作り、11月にはキャンドル制作を行ったほか、12月にはクリスマスのレク行事が行われます。今年も残り僅か。健康に明るく新年を迎えたいですね。

担当：佐々木

ポプリ



ポプリ25周年記念感謝祭

7月19日、天候に恵まれた中、『ポプリ25周年記念感謝祭』を開催しました。午前中は招待していた保護者を含め身内での会食を行い、余興では生活介護利用者のダンスで盛り上りがありました。久々に会う保護者との会話に花が咲き充実した時間となりました。午後からの一般開放では、屋台や縁日を催し、地域の大人から子どもまで多くの方々が来場され、会場は大いに賑わいを見せました。館内で25年の記念動画の放映及び生活介護の作品展示会を開催した他、ななかまどの特別販売を実施しました。会場は利用者さんをはじめ、来客、関係者の沢山の笑顔に包まれとても良い記念事業を無事終えることが出来ました。

サッポロビール園



札幌青少年科学館



生活介護、みんなで札幌日帰りトリップ！

10月29日に観光バスを借り、生活介護全員で札幌日帰りバスツアーに行ってきました！サッポロビール博物館で見学をしてから、お楽しみのランチは、サッポロビール園でジンギスカン、デザートやジュースなど好きなものをお腹いっぱい食べました。札幌青少年科学館では、様々な体験に触れ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。お土産も買って、皆さん「楽しかった！」「また行きたい！」との感想が聞かれました。

ななかまど

令和7年10月17・18日の2日間、ななかまど33周年感謝祭を開催し今年も新作パンを多数発売した他、菓子製品では、試作を重ねてきた「ポロたま」を提供しました。また、大会で入賞した角食は特別価格で販売しました。屋外ブースでは、サーティーアンダギーの実演や野菜詰め放題を行い、多くのお客様に喜んでいただき、大盛況に終えることが出来ました。地域の皆様への感謝を胸に、今後も愛される店舗づくりを目指していきます。



パン工場



全国の就労支援事業所による『第10回チャレンジドカップ』パン部門で、斎藤さん・上田さん・中島さんが出場し、道産小麦粉「春よ恋」を使用した角食で見事4位（審査員特別賞）を受賞しました。3名の方より「普段通り作れた、こだわりを表現できた」と感想が聴かれ、事業所全体で喜びを分かち合いました。

新型コロナウィルスの規制緩和後
より再開した青葉会行事ですが、昨
年に続き今年も実施する事ができま
した。その様子をお伝えいたしま
す。

また、記憶に新しい7月30日、
カムチャツカ半島での地震により太
平洋沿岸で津波警報が発令され事も
あり、改めて津波を想定した避難訓
練を実施しています。いずれの訓練
も白老町のハザードマップに従い、
避難所を目指しました。

青葉会1泊旅行実施! 毎年恒例!!

青葉会では、10月25日、26日に
各自希望する方面へ一泊旅行に
出かけました。函館では、五稜郭タワー
の眺望や函館山の夜景、ラツキーピ
エロでの食事など5カ所の名所観光を
楽しみました。室蘭では、科学館でた
くさんの不思議な体験をし、登別温泉
でゆっくりと過ごしました。2日目に
予定していたクルーズ船での地球岬遊
覧は天候により中止となつたものの、
代替え企画としてゲームセンターでの
遊戯や買い物を楽しみました。



室蘭のゲームセンター
景品ゲットです!!!



【第1支援課】



函館山からの夜景です!
皆さんの笑顔が100万ドルですね!



ラツキーピエロで
の食事風景です。
函館に行ったら
一度は訪れたい
有名店ですね!

【第2支援課】



第2支援課は夜間を想定して、バス
で避難場所「ホロケナシ駐車場公園」
まで片道20分の移動を実践しました。



第2・3支援課

避難訓練

【第3支援課】



第3支援課は沿岸に近い位置の為、早い津波到達を
想定し、徒歩3分にある白老町指定避難場所
ホテル「リブマックス」まで徒歩で避難しました。





まもなく～

生活介護事業所

愛泉園～

収穫祭



夏に汗をかいて頑張って作った野菜。
美味しく育ってくれた皆さんに感謝して秋の収穫祭を行いました。今年は大根や枝豆、他にもジャガイモやシャインマスカットなど収穫しています！

収穫祭前日、枝豆を収穫しづんだ餡を作りました。
薄皮を剥く作業が大変なはずが、皆さんとても上手に剥いていて職人のようでした！
午前中にずんだ餅やずんだムースを作り、お昼ご飯は枝豆ご飯・豚汁・焼き鳥・デザートを頂きました!!



去年と同様、午後に開催しました。カツラ競走やお菓子食い競走、フラフープリレーなど様々な競技に挑み、結果は引き分けとなりましたが怪我なく皆さん笑顔で終えることができました!!

アイセンピック



ハロウィン



午前中はかぼちゃパイをとても丁寧で慣れた手つきで作っていました。午後には仮装パーティー・映画鑑賞・お化け屋敷体験をしました。去年とは違う仮装をしたり、お化け屋敷では驚く方が中々おらず…。来年はもう少し怖くしても良いかもしれませんね^^



10月、11月と肌寒い季節でしたが紅葉ドライブや博物館見学、本屋さんでのお買い物！季節の変化を感じながら、ゆったり楽しい時間を過ごしました。

次回もみなさんの笑顔とワクワクをお届けします！
どうぞお楽しみに！！

ユニット外出



今後の予定

- 12月：忘年会
- 1月：新年会
- 2月：節分＆バレンタインデー
冬季アイセンピック
- 3月：ひなまつり＆ホワイトデー

あいせんえん

編集後記

外に出ると、すっかり真冬の空気になってしましましたね。今年はインフルエンザが流行り、苦労したのではないでしょうか？ちなみに最近私は運動を始めました！おかげで全く風邪をひきません！ただ、油断は禁物です。北海道は寒暖差が激しいので、体調管理等お気を付けください。





第 10 回チャレンジドカップ・パン部門で「審査員特別賞」を受賞。「ななかもどオリジナル角食」を手に、左から斎藤さん、上田さん、中島さん。

ご厚志（ご寄付・ご寄贈）

藤川春夫様より、チャレンジドカップ入賞の記事（左記）を読み、ポブリ就労活動の為として、多大なるご支援とご厚志を賜りました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



北海道知的障がい者芸術祭みんなあーと 2025 「みんなの思いをカタチに」が 10 月 16~18 日の 3 日間、札幌市中央区の道民活動センターあぷろの余暇音楽活動の「リベラリズム」の 14 名が初出場し、見事に「審査員特別賞」を受賞しました。1 曲目は「やさしさに包まれたなら」を手話で表現し、2 曲目は「笑点のテーマ」と「おどるポンポコリン」に合わせて調理器具を打楽器に見立て、ダイナミックに披露し会場を沸かせ大きな拍手をいただきました。



今回の
キラリさん!



赤羽 拓己さん



今回のキラリさんは…多機能型事業所ポブリ生活介護の
赤羽 拓己さんです。

レンディ支援員から「キラリ」な一言をいただきました。

今年の 8 月から、張り子作りに意欲的に取り組んでいます。紙を丁寧に貼り重ねて形を整え、だるまやドラえもんなど、ひと目でわかるほど特徴をとらえた作品を次々と生み出しています。創作中の表情はとても生き生きとしており、その集中力と発想力に毎回驚かされています。これからどんな作品が生まれるのか、今後の創作が楽しみです！

…編集後記…

2025 年はどのような一年でしたか？ 「第 25 回夏季デフリンピック競技大会」は、100 周年の記念すべき大会で日本では初めての開催となりました。日本代表選手団は、当初の目標であった「31 個以上のメダル獲得」を大きく上回る、合計 51 個のメダル（金 16 個、銀 12 個、銅 23 個）を獲得！ 「諦めずに挑戦し続ける姿」は勇気と希望を与えてくれました。

さて 2026 年が始まります。

皆さんが事故の無いよう健康で平穏に過ごせますよう
お祈りいたします。

（法人本部：中辻千恵）



地域貢献事業（共生型事業所はあもにい）

「ご近所野菜市」は、皆様の支えと共に 13 周年を迎えました！

家庭菜園で育てた新鮮な野菜や花を持ち寄り、野菜市を行うこと 13 年目。今回もジェラード工房ミナピエノ駐車場側にて開催しました。今回より野菜のご購入 100 円ごとに“10 元気”として券を発行し、“笑顔 BOX”に券を投函していただくことで町内の為に活動している団体への寄付につながる「笑顔のお裾分け」事業を実施しました。投函された券の総数は 3,000 枚を超え、子ども食堂ウタル様、お助けネット様、御用聞きわらび様へ、野菜市代表者より寄附金を進呈することができました。

野菜市の開催は毎年お客様から楽しみにしている問い合わせがあり、反響を大変うれしく感じております。是非次年度の「ご近所野菜市」をお楽しみにお待ちください！



寄附贈呈式（左）とにぎわう店舗（右）

白老ふれあい食堂「ウタル」

2018 年から活動している「白老ふれあい食堂実行員会（井原美智子代表）」は当法人の「はあもにい」を拠点に子供たちの成長を支え無償で食事を提供し子ども食堂の活動を通じ居場所づくり事業に取り組んでいます。

12 月はクリスマス会を開き子供から大人が参加し、各自でクリスマスケーキを手作りしました。「将来はパティシェになりたい」「ここでの勉強会に来て勉強がわかるようになった」という子供もいるようで、「夢を持つきっかけに携われたことはうれしい」

と井原代表は話されていました。無限の可能性をもつ次世代の子供達を大切にしたいです。



新任職員紹介（採用年月日）

「ポブリ」

※千葉 啓子（職業指導員）R7.10.15

「あぶろ」

※青木 承弥（生活支援員兼世話人）R7.8.20

※木村 清（夜間生活支援員）R7.11.1

「みらいえ」

※阿部早百合（看護師）R7.7.21